

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
 最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
 (こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

適用病害と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びベノミルを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	ベノミルを含む農薬の総使用回数※
樹木類	ごま色斑点病、炭疽病、輪紋葉枯病	2000倍	200～700ml/ 平方メートル	発病初期	－	散布	－
いぬつけ	枝枯病						
ばら	うどんこ病	2000～3000倍	100～300ml/ 平方メートル	－	6回以内		6回以内
	黒星病						
きく	白さび病	1000倍	1000～3000倍	－			
	褐斑病、黒斑病						
りんどう	花腐菌核病	3000倍					
パンジー	根腐病	2000倍	セルトレイ (60×30cm)1冊当り500ml	育苗期	2回以内	灌注	2回以内
ゼラニウム	黒根病						
チューリップ	球根腐敗病	100～500倍	－	植付前又は貯蔵前		15～30分間球根浸漬	
		球根重量の0.1～0.2%					
		20倍					
シクラメン	萎凋病	500～1000倍	50～100ml/鉢	－	3回以内	灌注	3回以内
トルコギキョウ	立枯病(フザリウム菌)	1000倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壤約4～5L)当り500ml	定植前日	1回		1回
しゃくやく、ぼたん	根黒斑病	20倍	－	植付前	2回以内	10分間苗基部 浸漬	2回以内
		500倍				16時間苗基部 浸漬	
野菜類、豆類(種実)、とうもろこし	フザリウム菌による病害	乾燥種子重量の0.16%		は種前	1回	種子処理機による種子粉衣	1回
うり類(漬物用)	炭疽病	1000倍	150～300ml/株	定植前～収穫45日前まで	2回以内	灌注	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
きゅうり	菌核病、灰色かび病、炭疽病、黒星病、つる枯病	2000～3000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
	つる割病	1000倍	150～300ml/株	定植前～定植1ヵ月後		灌注	

作物名	適用病害名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	ベノミルを含む農薬の総使用回数※	
ミニトマト	萎凋病	1000倍	150～300ml/株	定植前～定植1ヵ月後	2回以内	灌注	6回以内(種子への処理は1回以内、灌注は2回以内、散布は3回以内)	
	菌核病	2000倍	100～300ml/平方メートル	収穫前日まで	3回以内	散布		
	葉かび病、灰色かび病	2000～3000倍						
トマト	萎凋病	1000倍	150～300ml/株	定植前～定植1ヵ月後	2回以内	灌注	6回以内(種子への処理は1回以内、灌注は2回以内、散布及び常温煙霧は合計5回以内)	
	菌核病	2000～3000倍	100～300ml/平方メートル	収穫前日まで	5回以内	散布		
	葉かび病、灰色かび病							
なす	黒枯病、灰色かび病				3回以内	4回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)		
	菌核病、褐紋病	2000倍						
	半身萎凋病	500倍	200～300ml/株	定植後～収穫14日前まで	3回以内	土壤灌注		
		1000倍	400～600ml/株					
ピーマン	うどんこ病、斑点病、炭疽病	2000～3000倍	100～300ml/平方メートル	収穫前日まで	散布	散布	4回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)	
甘長とうがらし	炭疽病	2000倍						
オクラ	葉すす病	3000倍						
レタス	菌核病、灰色かび病、すそ枯病	2000～3000倍	100～300ml/平方メートル	収穫14日前まで	4回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)		
すいか	つる枯病、菌核病、炭疽病			収穫前日まで	5回以内			
メロン	菌核病				3回以内	4回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内)		
ブロッコリー		2000～4000倍	100～300ml/平方メートル	収穫7日前まで				
カリフラワー								
はくさい	白斑病、菌核病	2000～3000倍	100～300ml/平方メートル		2回以内	散布	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)	
	炭疽病							
キャベツ	菌核病、根朽病	2000倍	100～300ml/平方メートル		6回以内	散布	7回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は6回以内)	
アスパラガス	茎枯病、株腐病			収穫前日まで				
ほうれんそう	萎凋病			3L/平方メートル	収穫21日前まで	灌注	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)	
パセリ	立枯病	1000倍	100～300ml/平方メートル	収穫45日前まで	2回以内			
みずな	炭疽病、白斑病	4000倍		収穫14日前まで	1回	散布	2回以内(種子粉衣は1回以内、散布は1回以内)	
チンゲンサイ				収穫7日前まで				
非結球あぶらな科葉菜類 (みずな、チンゲンサイを除く)				収穫21日前まで				
いちご	炭疽病	500倍	－	仮植前	1回	10～30分間苗根部浸漬	9回以内(種子粉衣は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、育苗期の灌注は3回以内、本圃定植後の灌注は1回以内、散布は3回以内)	
			100ml/株	本圃定植後但し収穫30日前まで				
			50～100ml/株	育苗期				
	萎黄病	100ml/株	－	仮植前	1回	1～3時間苗根部浸漬	灌注	
			100ml/株	本圃定植後但し収穫30日前まで				

作物名	適用病害名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	ベノミルを含む農薬の総使用回数※				
しょうが	いもち病	1000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内				
ばれいしょ	黒あざ病	種いも重の0.3 ～0.4%	—	植付前	1回	種いも粉衣	1回				
かんしょ	つる割病	500～1000倍	20～40ml/株	挿苗時		株元灌注					
	基腐病		—	植付前		30分間苗基部 浸漬					
	つる割病、黒斑病		—			20～30分間苗 基部浸漬					
	黒斑病					種いも粉衣					
さといも(葉柄)	乾腐病	種いも重の 0.5%	50倍	催芽前		灌注	8回以内(種子粉衣は1回 以内、育苗培土混和、灌 注または苗根部浸漬は合 計1回以内、散布は6回以 内)				
たまねぎ											
	定植前										
								セル成型育苗 トレイ1箱またはペーパーポ ット1冊 (30×60cm、使 用土壤約5L) 当り500ml～ 1L			
	は種前										
	100倍			育苗培土混和							
	移植直前										
らっきょう	乾腐病	2000～3000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫前日まで	6回以内	散布					
ねぎ	萎凋病	500倍	—	植付直前	1回	30分間種球浸 漬	1回				
				定植直前		5分間苗根部浸 漬	3回以内(種子粉衣は1回 以内、苗根部浸漬及び灌 注は合計1回以内、散布 は1回以内)				
		100～200倍				30分間苗根部 浸漬					
						5分間苗根部浸 漬					
	小菌核腐敗病	500倍				30分間苗根部 浸漬					
						散布	3回以内(種子粉衣は1回 以内、苗根部浸漬及び灌 注は合計1回以内、散布 は1回以内)				
		100～200倍									
わけぎ	萎凋病	1000～2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫30日前まで	合計1回	灌注					
		500倍	セル成型育苗 トレイ1箱またはペーパーポ ット1冊 (30×60cm、使 用土壤約5L) 当り500ml	定植前							
		—	植付前	1回	30分間種球浸 漬	1回					

作物名	適用病害名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	ベノミルを含む農薬の総使用回数※
みょうが(花穂)	いもち病	2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫3日前まで	3回以内 みょうが(花穂)の収穫3日前まで但し、 花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する 散布	3回以内
しそ(花穂)	菌核病	2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫21日前まで	2回以内	散布	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
ピタヤ	炭腐症		200～700ml/ 平方メートル	収穫14日前まで			2回以内
せんきゅう	黒色根腐病	160倍	－	植付前	1回	30分間種球浸漬 種子粉衣 24時間種子浸漬	1回
みつば	菌核病	種子重量の0.5%		は種前			
		500倍					
		1000～2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
なたね			2000倍	収穫7日前まで			
ふき	葉枯病			収穫14日前まで			
つるむらさき	紫斑病			収穫前日まで	3回以内	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)	4回以内(植付前までの処理は1回以内、植付後は3回以内)
やまのいも	葉渋病、炭疽病			収穫30日前まで			
えだまめ	菌核病、紫斑病		1000倍	発芽14日後まで	2回以内	灌注	6回以内(種子粉衣は1回以内、灌注は2回以内、散布は3回以内)
	立枯病			3L/平方メートル			
さやいんげん	菌核病、角斑病	2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫開始14日前まで	3回以内	散布	
	立枯病	1000倍	3L/平方メートル	発芽14日後まで	2回以内	灌注	
さやえんどう	菌核病	2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫前日まで	3回以内	散布	
	立枯病	1000倍	3L/平方メートル	発芽14日後まで	2回以内	灌注	
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	菌核病	2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫30日前まで	3回以内	散布	
	立枯病	1000倍	3L/平方メートル	発芽14日後まで	2回以内	灌注	
いんげんまめ	菌核病	1000～2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫7日前まで	4回以内	散布	5回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)
	角斑病	1000～1500倍		収穫14日前まで			
えんどうまめ	菌核病、褐紋病	1000～2000倍	100～300ml/ 平方メートル	4回以内			
だいいず	菌核病、紫斑病	1000～2000倍		4回以内	散布	5回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)	
	黒根腐病	乾燥種子重量の0.5%	－	は種前	1回	種子粉衣	

作物名	適用病害名	希釀倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	ベノミルを含む農薬の総使用回数※
らっかせい	そうか病、茎腐病	2000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫7日前まで 収穫14日前まで	4回以内	散布	5回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)
	褐斑病、黒渋病	2000～3000倍					
豆類(種実、ただし、だいいず、いんげんまめ、らっかせい、えんどうまめを除く)	菌核病	1000～2000倍 500倍	-	種株冷蔵保存前 収穫28日前まで	1回	30分間種株浸漬 駒木瞬間浸漬	1回
たらのき	芽枯症	1000倍	3L/平方メートル	収穫30日前まで	3回以内	灌注	3回以内
セネガ	黒根病						
かのこそう	半身萎凋病	160倍	-	植付前	1回	30分間苗浸漬	1回
しゃくやく(薬用)	灰色かび病	1000倍	100～300ml/ 平方メートル	収穫14日前まで	8回以内	散布	8回以内
うめ、あんず	黒星病、すす斑病	3000倍	200～700ml/ 平方メートル	収穫7日前まで	1回	駒木瞬間浸漬	1回
びわ	灰斑病	2000～3000倍		収穫14日前まで	3回以内		
	ごま色斑点病	2000倍					
くり	実炭疽病	2000～3000倍	-	裂果前但し、収穫14日前まで	4回以内	マシン油乳剤で希釀し塗布	4回以内 6回以内(塗布は2回以内、散布は4回以内)
なし	胴枯病、黒星病、うどんこ病、輪紋病、心腐れ症(胴枯病菌)			収穫前日まで	4回以内		
	枝枯病、胴枯病	20倍	-	3月～6月	2回以内		
かき	落葉病、うどんこ病、炭疽病、すす点病	2000～3000倍	200～700ml/ 平方メートル	収穫前日まで	6回以内	散布	6回以内
	疑似炭疽病	2000倍		収穫前日まで	3回以内		
もも	灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、うどんこ病	2000～3000倍		収穫3日前まで	2回以内	駒木瞬間浸漬	3回以内
おうとう	灰星病、褐色せん孔病	3000倍		3回以内			
ネクタリン	灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病	2000～3000倍		休眠期	1回	マシン油乳剤で希釀し塗布	2回以内 3回以内
いちじく	株枯病	1000倍		収穫45日前まで	5回以内		
キウイフルーツ	果実軟腐病、すす斑病	2000倍	200～700ml/ 平方メートル	5回以内	散布	5回以内	1回
ブルーベリー	斑点病、バルデンシア葉枯病	3000倍		1回			
ぶどう	褐斑病、うどんこ病、灰色かび病、晚腐病	2000～3000倍		収穫45日前まで	3回以内	散布	4回以内(休眠期処理は1回以内、散布は3回以内)
	黒とう病	2000倍		休眠期	1回		
	黒とう病	200～500倍		収穫45日前まで	3回以内		
	つる割病、晚腐病						
	枝膨病	200倍					
	芽枯病	2000倍		収穫45日前まで	3回以内		

作物名	適用病害名	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	ペノミルを含む農薬の総使用回数※
みかん	そうか病、灰色かび病	2000～3000倍	200～700ml/ 平方メートル	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
	貯蔵病害(青かび病、緑かび病、軸腐病、炭疽病、黒斑病)	4000～6000倍			2回以内		2回以内
	貯蔵病害(青かび病、緑かび病、軸腐病、炭疽病、黒斑病)	4000～6000倍			4回以内		4回以内
かんきつ(みかんを除く)	モニリア病	2000倍					
りんご	黒星病、黒点病、褐斑病、うどんこ病、腐らん病、すす点病、すす斑病、輪紋病	2000～3000倍			4回以内		4回以内
	モニリア病	2000倍					
りんご(苗木)	白紋羽病	1000倍	—	植付直前	—	10～30分間根部浸漬	—
茶	炭疽病、白星病、輪斑病、褐色円星病	2000～3000倍	200～400ml/ 平方メートル	摘採14日前まで	1回	散布	1回
	白紋羽病	1000～2000倍	—	—		苗木根部24時間浸漬	
西洋芝(ペントグラス)	葉腐病(プラウンパッチ)	2000～3000倍	2L/平方メートル	発病初期	6回以内	散布	6回以内
こんにゃく	乾腐病	50～100倍	—	植付前	1回	種いもの芽基部に散布	1回
麦類	雪腐病	2000～3000倍	60～150ml/ 平方メートル	根雪前		散布	
桑	胴枯病	1000倍	100～300ml/ 平方メートル	摘採9日前まで	2回以内		2回以内
	輪斑病	2000倍					
かのこそう	半身萎凋病	160倍	—	植付前	1回	30分間苗浸漬	1回

効果・薬害等の注意

- きゅうり、トマトに対して灌注処理する場合は、誤って高濃度で処理すると退色や生育抑制などの薬害を生ずることがありますので、所定濃度を守ってください。
- たまねぎ、いちごに対して苗根部浸漬処理する場合は、誤って高濃度で処理すると、いちごでは活着不良、たまねぎでは初期生育遅延等の薬害のおそれがありますので使用方法を厳守してください。
- なすの半身萎ちよう病に対して灌注処理する場合、定植前及び定植時処理では葉の黄化・生育抑制等の薬害を生ずるおそれがありますので定植後に処理してください。
- りんごのモニリア病に使用する場合、多発条件下では効果が劣ることがありますので、発病初期に時期を失しないように散布してください。
- いちごの萎黄病防除に使用する場合、特に多発地では植付前の土壤くん蒸と本剤処理とを組み合わせるとより有効です。
- なしの枝枯病、胴枯病に使用する場合は、マシン油乳剤で希釗し、病斑部及びその周辺に1～2回塗布してください。尚、病斑部を削り取った後に塗布する場合は木質部が見えない程度に表皮を薄く削ってください。
- 本剤及び同系統の薬剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し、効果の劣った例がありますので過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤を組み合わせて使用してください。
- 本剤はエトフェンプロックス乳剤またはダイアジノン乳剤と混用した場合、凝固物を生成するため混用を避けてください。
- こんにゃくの乾腐病防除に使用する場合は、種芋の芽基部を上に向けて並べ、散布液が芽基部に十分かかるように1平方メートル当り100ml散布してください。
- 麦類の雪腐病防除に使用する場合、散布は根雪近くに行ってください。
- 桑の胴枯病に使用する場合の散布適期は9月上・中旬です。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)